

令和3（2021）年度 島根県立隠岐養護学校 学校評価集計全体表 2022.3.31

<b>教育目標</b>
児童生徒一人一人の障がいや発達に即した適正な教育をおこない、仲よく、明るく、たくましい人間への成長発達をめざす。
<b>学校経営方針</b>
(1) 児童生徒の一人一人の教育的ニーズに即した教育課程を編成、実践、評価のPDCAサイクルで効果的な教育をする。 (2) 児童生徒が主体となる異年齢活動を積極的に展開し、集団としての学びを充実させる。 (3) 関係機関との連携を図り、自立と社会参加に向けた学習を積み上げる。 (4) 地域における特別支援教育のセンター的機能の充実を図る。 (5) 特別支援教育に対する地域の理解啓発を進める。
<b>今年度の重点目標</b>
【重点目標】 ①共生社会に向かう取組をしよう。 ☆多様な人と協力・協働の機会をつくる。（本校の校訓の最初は「仲よく」です。） ②人として、また、学校としての有用感を高めよう。 ☆自立と意を高める教育。「ありがとう」のあふれる学校。 ☆隠岐に隠岐養護学校があつてよかった。 ※「隠岐の子は隠岐で育てる」・・・開校以来の思い ③専門性を高める ☆「語れる専門性」を二つ以上もつ。 【学校づくり・授業づくりのキーワード】 「おもしろい」の種をまく」

※わかりやすさを重視して、小数点以下を一律切り上げ処理した関係で、合計が100%になっていない項目がある。

項目No.	児童生徒アンケート				
	質問項目				
1	先生は、授業中わかりやすく教えてくれますか。	86%	14%	0%	0%
2	できた、わかった。もっとやりたいと思った授業はありましたか。	29%	57%	7%	0%
3	授業や学校行事は充実していましたか。	71%	14%	14%	0%
4	授業や学校行事にすすんで参加したと思いませんか。	43%	36%	14%	0%
5	学校（教室）は安心して過ごせますか。	64%	21%	14%	0%
6	先生は、学校のきまりや社会のルールをきちんと指導してくれていますか。	86%	7%	0%	0%
7	あなたは、学校のきまりなどをしっかり守ったと思いませんか。	50%	36%	0%	14%
8	あなたは、すすんで挨拶をしたり、言葉づかいに気をつけたりすることができましたか。	57%	29%	7%	0%
9	あなたは、学校のクラスの友達や先輩、後輩にいじわるをされたことがありますか。	0%	0%	86%	14%
10	あなたは、学校の友達や先輩、後輩にいじわるをしたことはありませんか。	0%	0%	86%	14%
11	あなたは、学校のクラスの友達や先輩、後輩がいじわるされているのを見たことがありますか。	0%	0%	86%	14%
12	先生は、進路や友人関係などで、困った時、悩んだ時に話をしっかり聞いてくれますか。	71%	0%	0%	7%
13	先生は、いつも気にかけて声をかけてくれていますか。	79%	0%	7%	7%
14	学校の勉強や生活は、自分の将来に役立つものと思いませんか。	71%	7%	7%	0%
15	学校の勉強や生活をおして、昨年よりできることが増えたと思いませんか。	57%	21%	14%	0%
16	教室、作業室、体育館、校庭、トイレ、プレイルームなどは使いやすいですか。	50%	14%	7%	7%

1 そう思う 2 思う 3 あまり思わない 4 思わない 5 わからない  
(質問9、10、11は、1 ある 4 ない 5 わからない)  
※網掛けは、各質問で最も多い評価

項目No.	保護者アンケート				
	質問項目				
1	児童生徒が学校生活や学習活動に意欲的に取り組んだり、楽しみにしたりしている様子が見られましたか。	57%	29%	0%	0%
2	連絡帳や送迎時の話などを通して、日々の連携をとることができましたか。	57%	29%	0%	14%
3	生徒は学校生活や学習活動に目的意識や達成感をもって取り組んでいましたか。	33%	67%	0%	0%
4	日常生活に必要なことからや生活技術を高めるために適切な支援がなされていましたか。	42%	58%	0%	0%
5	ホームページ、学校新聞等により、学校全体の様子を知ることができましたか。	26%	53%	0%	5%
6	保護者懇談の回数や日程は、適切でしたか。	63%	16%	0%	0%
7	保護者懇談では、担任とお子さんの成長や課題・支援の仕方について話し合うことができましたか。	58%	16%	0%	5%
8	生活習慣、ルール、マナーについて適切に指導、支援が行われていましたか。	37%	42%	0%	0%
9	教職員の子どもや保護者等への接し方は適切でしたか。	37%	37%	0%	0%
10	現場実習は充実していましたか。	42%	16%	5%	0%
11	お便りや懇談等において、進路に関する情報提供がなされていましたか。	26%	42%	0%	0%
12	来校者への接遇に配慮がなされていましたか。	42%	37%	0%	0%

1 そう思う 2 思う 3 あまり思わない 4 思わない 5 わからない  
※網掛けは、各質問で最も多い評価

分掌等	重点目標	手だて	教職員自己評価					評価・改善策等	4段階評価	学校関係者評価					4段階評価	
			アンケート回答 (高⇄低、わからない)							3月 に 評 価 し た	評価・意見					
			1	2	3	4	5				1	2	3	4		5
小 中 学 部	③ 育てたい資質・能力の育成をめざした授業づくりをする。	○児童生徒の実態に合わせて育てたい資質・能力を設定し、授業を計画・実践し、評価する。	15%	85%	0%	0%	0%	・研究授業や研究の日を通し、育てたい資質・能力の設定や評価についてより深く考えることができた。単元ごとに一人一人の資質・能力を3つの観点ですべて設定するには課題も残ったが、公開授業を中心に一人一人の目標を設定したり、振り返って評価したりすることができた。どの学級も授業の相談や打ち合わせを日常的に行い、授業後すぐに振り返りをして授業改善をするなど丁寧な授業づくりをすることができた。今後も的確な目標設定と評価を心がけていきたい。	B	○全体 ・全体的により方向に進んでいるように見える。 ・隠岐養護学校が隠岐郡内の共生社会のリーディングスクールとなるように切に願っている。	B					
高 等 部	② 自己有用感を養い、自分を表現する力や主体的に行動する力を育成する。	○生徒が適切な目標設定と評価を基に、自分の目指す姿を意識して行動できるように、教育課程1の生徒を対象にしたルーブリック表を作成して学部間で共有し、支援にあたる。	23%	69%	8%	0%	0%	・昨年度まで3年生が使っていたルーブリック表と、千葉県立特別支援学校流山高等学校が作った評価表と、作業学習で共通に使っている日誌の評価表を基に、学年でルーブリック表の項目毎に検討を行った。さらに内容やチェック項目の文言について、生徒が自己チェックする時に、分かりやすいチェック表を話し合いを行い検討した。 ・10月以降の生徒との面談で活用して改善点を学部内で検討。 ・3学期に改善したものを面談等で活用する。	B	・重点目標にある共生社会づくり・人として学校としての有用感づくりは全く共感できるものであり、その実現に向けて教職員・魅力化コーディネーターが積極的に取り組んでいる姿勢を素晴らしいと感じた。また地域に開かれた学校づくり・そして次年度から始まる学校運営協議会にも今後の取り組みを期待したい。 ・地域との連携や積極的に地域に出かけようとしている姿やいろいろな取り組みを工夫しながら行っているところがとてもいいと思います。	B					
総 務	① 関係機関と連携を図るとともに、広報活動の充実へ努め、情報発信することで、理解啓発を図る。	○共生社会に向かう本校の取組について、ホームページ、学校新聞等や地域の提供の場を活用して情報発信をする。	48%	42%	3%	3%	3%	・各学部、分掌、魅力化コーディネーターの協力を得て、児童生徒の学習状況や各行事等の具体的な内容を適宜情報発信することができた。週1程度の掲載スケジュールが活動の変更に適応できず遅れることもあったが、進路関係等計画以上に掲載できた例もあり、取組への意識は全体的に高まった。各部署との連携を密にすることで、共生社会に向かう取組の情報発信を充実させていきたい。 ・2ヶ月ごとに更新することで各学部の取組の様子を紹介することができた。合庁の展示をきっかけに県民局さんの協力で作業製品の販売機会が増加するなど、地域との交流の充実につながった。	B	○魅力化コーディネーター ・魅力化コーディネーターによる情報発信が「隠岐養護」を知ってもらう良い手段となっているので継続してほしい。 ・魅力化コーディネーターとの連携に成果があった。今後もいろいろな関係機関との連携が必要。 ・魅力化コーディネーターの着任で、新しい形の発信で学校での様子が見られて素晴らしい。時代にとった働きがよい。 ・魅力化コーディネーターが入ったことで学校全体の情報発信が進んだと思う。引き続き発信を行い広げてほしい。	B					
教 務	② 一人一人の障がいや発達に応じて「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた教育課程の編成と実施に努める。	○役立ち感の高まる教育の実現に向けて、新学習指導要領の実施及び指導計画の改善を行う。	61%	32%	0%	0%	6%	・教務だよりを1学期に1回2学期に2回発行、研修会を2回実施し、新学習指導要領に基づいた県内統一の新様式及びその考え方について周知を図った。指導計画の作成に関する考え方や、分かりやすい面もあるため、児童生徒の学びの充実に向けて、引き続き丁寧な説明及び手引きの作成等を行ってほしい。	B	○授業づくり ・児童生徒一人一人の目標を細かに明確にされ、授業づくりを行いさらに授業改善を行い、進めていくことを今後を引き続きお願いしたい。日々の授業を大切にしていきたい。 B・「やってみようシート」での細かい評価で個人の成長や、まだできない課題がはっきり見えることで今後につながるためよいと思う。	B					
研 修 相 談	③ 授業研究に取り組み、教育実践の深化を図る。	○校内研究の内容や方法について、意見集約や共有を図りながら、計画的に授業研究に取り組む。	42%	42%	6%	0%	10%	・研究チームの実施（年間4回）、学部での指導案検討、他グループの授業参観（全教員各2回）に取り組むことができたか。	B	・「やってみようシート」での細かい評価で個人の成長や、まだできない課題がはっきり見えることで今後につながるためよいと思う。	B					
生 徒 指 導	② 集団の一員として、よりよい学校生活や人間関係を築こうとする主体的な態度の育成を目指す。	○執行部や委員会活動、行事、全校集会などの活動で、主体的に他学部の児童・生徒、地域の方々と意図的に関わる場面を設定する。	58%	23%	10%	0%	10%	・ポチャのルールや楽しさを地域の小学生・中学生に伝える活動を年に2回設定し、実行することができた。 ・当初は、学校周辺のごみ拾いや保育園への読み聞かせなどの活動を予定していたが、委員会活動の時間を確保することが難しく、生徒主体で企画を進めることができなかった。 ・生徒が提案した執行部企画や委員会活動を3つ以上実現するためのサポートができたか。	B	○センター的機能 ・特別支援教育のセンター的役割に大きな期待が寄せられている。プロとしての見識・技能を広く各学校や地域へ伝えてほしい。	B					
進 路 指 導	② 保護者のニーズに応じた進路に関する情報提供をする。	○個に応じた情報提供や進路相談を実施するため、担任と連携し、保護者のニーズや進路に関する希望を把握する。	55%	32%	0%	0%	13%	・実施できた。実習や進路相談等を通して生徒や保護者のニーズが変わることがあるため、聞き取りアンケートについては必要に応じて実施していきたい。 ・学期に1回進路便りが発行できたか。 ・関係機関と連携して高2、高3の進路相談会を実施できたか。	B	・企業説明会などでは、トップの方のみではなく、実際に現場と一緒に働く方の参加もあると、より学校を知ってもらう事になると思う。 ・保護者への情報発信（特に進路）を早期に行うことを検討していただきたい。 ・ホームページなど楽しそうな学校の雰囲気など伝わって「発信」と言うところは大変工夫されていると思います。 ・学級通信等とてもわかりやすく毎回のしみに読ませていただいています。	B					
事 務 部	③ 施設・設備の適切な安全管理	○報告のあった破損・危険箇所の対応方針は1週間以内に決定する。 ○予算不足で修繕ができなかった箇所は、速やかに実施できるよう本庁と協議する。	65%	29%	3%	0%	3%	・報告のあった破損・危険箇所の対応方針は、1週間以内に決定できたと考えている。 ・緊急を要するものを除けば、令達予算の範囲内で対応することになるため、最大限の益となるように工夫して予算活用していきたい。	B		B					